

がく どう しゅう だん そ かい
学童集団疎開

ってなあに？

つた せん そう
～伝えつづける 戦争のきおく～



はじめに

たくさんの人がつらい思いをした太平洋戦争がおわってから、80年以上がたちました。

戦争がひどくなる中で、1944(昭和19)年8月から、当時の深川区や城東区(今の江東区)に住んでいた小学3年生から6年生のこどもたちは、新潟県や山形県へ学校ごとの引っ越しをしました。

こどもたちは家族と離れて、先生などと一緒に暮らす生活を1年以上続けました。

このような戦争の中のできごとを、次世代のこどもたちへ伝えるために、この冊子を作成しました。

また、江東区では、江東図書館3階に当時の資料や体験のお話を集めた資料室があり、展示も行っています。

目次

はじめに	1
目次	1
学童集団疎開ってなあに？	2
戦争中の江東区は？	3
どうして疎開することになったの？	4
疎開先へどのように出発したの？	5
エピソード・家族との別れのとき	6
疎開先ではどのような生活だったの？	7
疎開先の1日の生活は？	8
疎開先でつらかったことは？	10
1945(昭和20)年3月10日に 東京へ帰っていた6年生はどうなったの？	11
疎開先から、いつ家に帰ることができたの？	12
ワークシート：まとめよう！ 考えよう！	13



がく どう しゅう だん そ かい

学童集団疎開ってなあに？

いまから80年以上前、日本は太平洋戦争という大きな戦争の渦中にいました。戦争がはげしくなると、都市部にすむ子どもたちが空からのこうげき（空襲）にあうおそれが出てきました。

そこで、国は疎開というしくみをつくり、子どもたちを空襲の少ない地方へうつすことにしました。親せきがいる子は縁故疎開として、その家に行きましたが、親せきがない子どもたちは、先生や友だちといっしょに学童集団疎開というかたちで、学校ごとみんなで地方へ行ってくるようになりました。

江東区では、たくさんの子どもたちが新潟県や山形県に疎開しました。お寺や旅館などで、1年以上のきびしい集団生活をおくったのです。



戦争中の江東区は？

江東区は、城東区と深川区という2つの区に分かれていました。

城東区の学校は山形県へ、深川区の学校は新潟県へ疎開しました。

※戦争が終わったあとの1947(昭和22)年に2つの区が合併し、江東区が誕生しました。



城東区学童疎開先(山形県)

- | | |
|-------------|--------------------------|
| 1 一亀小→上ノ山町 | 10 砂町小→酒田市、吹浦村 |
| 2 二亀小→上ノ山町 | 11 二砂小→小野川温泉 |
| 3 香取小→高湯温泉 | 12 三砂小→高湯温泉、
天童温泉、山寺村 |
| 4 堅川小→上ノ山町 | 13 四砂小→赤湯温泉 |
| 5 水神小→赤湯温泉 | 14 亀高小→新庄町 |
| 6 一大小→赤倉温泉 | 15 四大小→米沢市、小野川温泉 |
| 7 二大小→米沢市 | 16 釜屋堀小→瀬見温泉 |
| 8 三大小→小野川温泉 | 17 文泉小→上ノ山町 |
| 9 五大小→上ノ山町 | |



深川区学童疎開先(新潟県)

- | | |
|-------------------------------------|--------------------|
| 1 明治小・明治第二小→
村上町、瀬波町、岩船町、神納村、女川村 | |
| 2 八名川小→中条町、乙村、築地村、菅谷村 | |
| 3 元加賀小→五十公野村、本田村、川東村、葛塚町 | |
| 4 臨海小→水原町、笹岡村、安田村 | |
| 5 毛利小→津川町、両鹿瀬村、三川村 | |
| 6 白河小→小須戸町、金津村、五泉町、村松町 | |
| 7 高橋小→白根町 | 8 東川小→亀田町、新津町、両川村 |
| 9 川南小→黒崎村、小吉村、島上村、地藏堂町、国上村 | |
| 10 深川小→曾根町、荻町、和納村 | |
| 11 平久小→峰岡村、岩室村、吉田町、弥彦村 | |
| 12 石島小→田上村 | 13 東陽小→加茂町、下条村、三条市 |
| 14 数矢小→三条市 | 15 扇橋小→見附町、今町、中之島村 |

※地名は当時のものです。

そ かい どうして疎開することになったの？

1937(昭和12)年に「日中戦争」がはじまり、日本は長い戦争に入りました。

そして、1941(昭和16)年には、アメリカやイギリスと戦う「太平洋戦争」がはじまりました。

はじめは日本が勝っていましたが、だんだん負けるようになり、1943(昭和18)年には、空襲をおそれて、子どもたちを地方にうつす疎開がすすめられました。

1944(昭和19)年には、今の小学3年生から6年生にあたる子どもたちが、先生といっしょに集団で疎開することになりました。これは、次世代の子どもたちの命を守るため、そして空襲で逃げるとき、足手まといとならないようにするためでした。

江東区では、当時の深川区と城東区をあわせて33の学校から、約1万2千人の子どもたちが新潟県や山形県に疎開しました。



そ かい さき 疎開先へ

しゅつ ぱつ どのように出発したの？

1944(昭和19)年8月から、深川区のこどもたちは新潟県へ、城東区のこどもたちは山形県へと出発しました。学校では壮行式というお見送りの会が開かれました。

実際に当時の明治第二国民学校では下記のような会だったとの記録があります。

勝つために日本の良い子として皆さんは、遠く百里彼方の新潟へ集団疎開する。お召を頂いて勇敢征途につく出征兵士と同じ気持ちであくまで朗らかで元気で行きましょう。
(校長先生の言葉)

私達は日本の強い子どもです。何で淋しがったりいたしましょう。先生のご指導を守り元気に行ってみます。
(児童代表の言葉)



壮行会が終わると、夜間に上野駅のホームで待っていた学童疎開専用列車に乗って、疎開先へ向かいました。

疎開先へ着くと、今度は地元の人々が歓迎式を開いてくれました。

家族との

別れするとき



先の都教育局からの通達に
 各学校では簡単な見送りに
 ついては、控えるよう
 に決められていた
 各学校では簡単な見送式
 を行い「万歳三唱」の
 歓呼のうちに
 「泣かない別れ、笑って
 出発」を実行した



普通なら父母の見送りは
 遠慮するのではあるが
 父は第一線に、子もまた疎開
 戦列へ、
 事情が特殊ということで学校側
 は配慮をした

そ かい さき

疎開先では

せい かつ

どのような生活だったの？

こどもたちは、先生や寮母さんといっしょに、旅館やお寺などを使った、学寮でくらししました。そこでは、水くみやたきぎ拾い、畑仕事などをみんなで協力しておこないました。

疎開先の学校に通って、現地の先生の授業を受ける子もいれば、学寮の中で授業を受ける子もいました。運動会や遠足などの行事では、地元のこどもたちといっしょに活動することもありました。



授業風景



かぼちゃの収穫



たきぎの運搬

そ かい さき にち せい かつ 疎開先の1日の生活は？

がくどう きかい 学童疎開のこどもたちは、お寺や旅館で、みんなで夜泊まりをしていました。先生や寮母さんと一緒に生活をしていて、みんなで毎日同じ時間に起き、同じ時間に寝るなど、きまりを守らなくては、いけませんでした。

1日の生活

午前 5時30分	起床 寝具整理・室内清掃・洗面
5時50分	点呼
6時10分	朝礼 体操・朝の挨拶・寮長の朝の言葉
6時30分	朝食準備
6時40分	朝食
7時	食後の整理・登校準備
7時10分	登校 帰校後、自由時間
午後 4時	自習時間
5時	休憩
5時30分	夕食準備・夕食・食後の整理
6時	自由時間 反省・日記記入
7時30分	点呼の準備 歯磨き・室内の整頓・清掃・寝具用意
8時	点呼
8時10分	就寝の挨拶
8時30分	消灯



自由時間があり、トランプ遊びやお絵描きなどをすることもありましたが、授業がない時間に食料を増やすための仕仕事を手伝ったり、寒い冬への準備として、たきぎを運ぶなどの重労働も行っていました。

そ かい さき にち せい かつ
疎開先の1日の生活は？



ちよう れい
朝 礼



かん ま びつ
乾布摩擦



しょく じ
食 事



そう じ
お掃除



あそび
トランプ遊び



ね まえ いの
寝る前のお祈り

そ かい さき 疎開先でつらかったことは？

ごはんをおなかいっぱい食べた

戦争中は、自由に食べ物を買うことができず、
国が決めた少ない量の食べ物のみ、配られて
いました。このことを配給といいます。

そのため、食べ物が足りなくて、こどもたち
はいつもおなかをすかせていました。少しでも
おなかを満たすよう、こどもたちは、木の実を
はじめ、バッタやカエルをつかまえて食料にした
り、家から持ってきた、お手玉の中身の大豆やおなかの薬も食べていました。



疎開先のごはんと今のごはん

からだ 体じゅうがかゆいよ

集団生活のため、ノミやシラミがこどもたちの間で移ってしまい、体中がいつも、かゆ
くなっていました。

夜寝る前に、洋服からノミをつぶすことが、こどもたちの日課になっていました。また、
シラミをとるために、女の子は、髪の毛をくしでとかしたり、中には髪型が男の子のように、
丸坊主になってしまった子もいました。

おかあさんに会いたい

家族との面会は、列車のきっぷの購入に制限があったため、児童1人につき1名までと
し、東京都で1か月あたりの面会できる家族の総人数を決めたところ、約4か月に1回のみ
となっていました。そのため、こどもたちは、家族と会える面会をととても待ち望んで
いました。

しょう わ ねん がつ か

1945(昭和20)年3月10日に

とう きょう

かえ

ねん せい

東京へ帰っていた6年生は

どうなったの？

そつぎょうしき しんがくじゆんび とうきょう かえ ねんせい おも とうきょう だい ぐう しゅう
卒業式や進学準備のため、東京へ帰った6年生を襲ったのが「東京大空襲」です。

つよ きたかぜ ふ しょうわ ねん がつ か ぼく げき き 300 き
強い北風の吹く1945(昭和20)年3月10日の深夜、アメリカ軍は爆撃機B29を300機
い じょう とうきょう じょう くに ひ らい ぐわつ けい 1,700 せん ぼく だん しょう い だん お
以上も東京上空に飛来させ、合計でおおよそ1,700tもの爆弾や焼夷弾を落としました。

しょう い だん なか な あぶら はい ぼく ぼつ おお ぼく だん
焼夷弾とは、中にガソリンなどの油が入っていて、爆発すると大きな炎が発生する爆弾
です。

とく ひ がい おお ち い き わたし す こ う とう く しょう い だん
特に被害の大きかった地域のひとつが、私たちの住んでいる江東区です。焼夷弾によ
て、もく ぞう い へ おお な が が わ ち く じょう とう ち く や だ つ
木造の家が多い深川地区や城東地区は、焼き尽くされました。

この「とうきょう だい ぐう しゅう」で とうきょう かえ ねん せい おお が な げん ざい き なく
この「東京大空襲」で東京へ帰った6年生の多くが亡くなりました。現在もなお、帰宅し
た ねん せい せい し ふ めい
た6年生の生死は不明となっています。





かず や こく じん がっ こう そつぎょうしゃ しん 数矢国民学校の卒業写真

この写真は、昔の数矢国民学校（今の数矢小学校）に長い間保管されていたものです。卒業式の記念写真だと思われませんが、撮影されたのは1945（昭和20）年3月9日の昼ごろでした。その日の夜には、東京大空襲という大きな爆撃が始まりました。

戦争のために、新潟県三条市に学童集団疎開していた数矢国民学校の6年生たちは、卒業式を母校で行うため、2月25日に東京へ戻ってきました。

写真に写っている173人のこどもたちは、久しぶりに家族と会い、3月9日に学校で卒業式をしました。でも、その夜、多くのこどもたちの住んでいた家や学校は、空襲で焼けてしまったのです。

写真に写っている卒業生の話によると、写っているこどもたちの半分以上が、この空襲で亡くなってしまったそうです。

数矢国民学校だけでなく、卒業式のために江東区へ戻ってきた他の学校の約3,500人の6年生も、東京大空襲にいました。そのうち、半分以上が空襲で命を失ったのではないかとされています。

このエピソードは、江東区の歴史の中でもとても大切に、忘れてはいけない出来事です。

これからの時代を生きるみなさんにも、知ってもらい、次の世代のこどもたちへ伝え続けてほしいお話です。

そ かい さき

疎開先から、

いえ かえ

いつ家に帰ることができたの？

1945(昭和20)年8月15日に日本はポツダム宣言を受け入れ、戦争が終わりました。

子どもたちの疎開先から東京への帰宅は、終戦から2か月が過ぎた10月に入ってから始まりました。

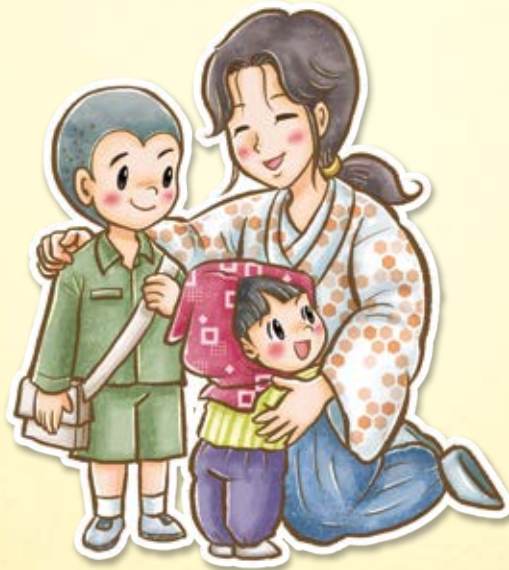
疎開先の子どもを迎えに次々と家族がやってきて、一緒に東京へ帰っていきました。

しかし、東京大空襲などで家族をすべて亡くし、お迎えが来ず、孤児となった子どもがたくさんいました。

この子どものことを「戦災孤児」といいます。会いたかった家族と再会できない「戦災孤児」は江東区だけでも、182名もいました。

なお、江東区の「戦災孤児」は、現在の西東京市にあるお寺に保護されました。

戦争が終わったのに、大好きなお父さんやお母さん、きょうだいと生活することができなかったのです。



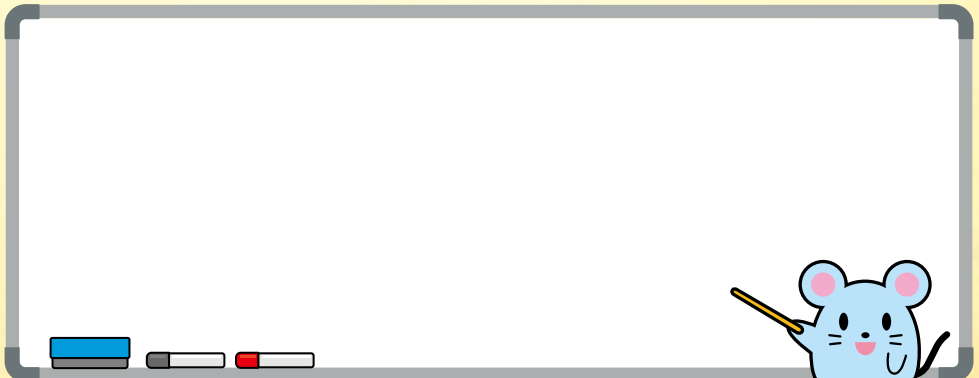
がく どう しゅう だん そ かい
学童集団疎開とはどのようなできごとでしたか?



か ぞく ねん い じょう はな せい かつ ぼ あい き ら かんが
家族と1年以上離れての生活をした場合、どんな気持ちになるか考えてみよう!



さっ し よ かん かんが おし か
この冊子を読んで、感じたこと・考えたこと・思ったことを書いてみよう!



学童集団疎開資料室

沿革

- 平成 7年 3月 「学童疎開五十周年記念の集い」開催
「戦火を逃れて新潟・山形へ
江東区学童集団疎開 五〇周年記念誌」発行
- 平成 11年 2月 江東区学童集団疎開連絡会発足
- 平成 12年 8月 第四砂町小学校内に「学童集団疎開資料室」開設
- 平成 21年 8月 江東図書館内に「学童集団疎開資料室」移管開設
- 令和 3年 2月 映像資料「戦争の語り部」制作
- 令和 7年 7月 「学童集団疎開資料室」リニューアルオープン



- 東京メトロ東西線 南砂町駅下車(5番出口) 徒歩10分
- 都営バス 南砂6丁目下車 徒歩2分
- 江東図書館入口下車 徒歩4分
- 南砂3丁目 徒歩5分
- みどり団地下車



所在地 江東区南砂6-7-52 江東図書館3階

展示日時 江東図書館開館中はいつでもご覧いただけます。
(開館日) 月曜日～土曜日:午前9時～午後8時

日曜日・祝日・休日・12月28日:午前9時～午後7時

休館日 館内整理日:毎月第3金曜日(休日に当たる場合はその前日)及び1月4日
年末年始:12月29日～1月3日、特別整理期間など

※詳細は、下記へお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

問合せ先 江東区教育委員会事務局江東図書館

TEL:03-3640-3151 FAX:03-3615-6668

江東区立図書館ホームページ:<https://www.koto-lib.tokyo.jp>



学童集団疎開ってなあに? ～伝えつづける 戦争のきおく～

令和8年3月10日発行 印刷物登録番号(7)87

編集・発行 江東区教育委員会事務局江東図書館 印刷 睦美マイクロ株式会社
〒136-0076 江東区南砂6-7-52 〒135-0016 江東区東陽5-7-12